

またまた やっぱり 今年も

Super

3

令和7年9月18日
立川市立第三小学校
校長 田村聰

5年 ことばのかけら

図工の作品が展示されました。5年「ことばのかけら」というタイトルです。

「ことばから表現は生まれるのか」ということで、1~6年生の国語の教科書から文を選んで切り取ってから絵を描きました。

積み重ねて初めて「私」になる

まだまだ、積み重ねばならないものがあるだろうなあ

あたまのかたすみにあった あのことをひきずっている

いったいなんだ、なんなのだ、あなたの頭の中に残っているのは 引きずるぐらいに重い
ものなのかな

なにもいえない ことばがでない あっちへこっちへ

じぶんでもふしぎにおもうけど ただただ時間がすぎるだけ

はっきりとしない漠然としたもの、言葉でもいい表せない。分からぬけど時間だけは過ぎていく。

のぼってのぼって いっぱいをきざんでいる

のぼるのはきつい。でも振り返ってみれば、着実に一歩一歩進んでいる。

のぼりきってみえるのは やはりみち

のぼってみて、ようやくここがゴールなのか。いいやまだ先が見える。ここは道の途中で
しかないんだ。

カラダはここでいいのに ココロはとおくをめざす

つかれた、もうここでいいか。での自分の心はもっと遠くを目指している。新しい一步を
踏み出さねば。

いつか たどりつく

いつか、いつかだ。今日も明日も歩き続けよう。

さあ、もうかえってねよう

でも、きょうはここまで。寝るのも大事。



友達の瞳の中にいる人物、それは自分だそうです。
ことばは「ねむらないで」、ずっと私のことを見ていて、
ということでしょうか。

注釈は自分が勝手につけました。子ども達が教科書から
選んだ文に思い思いの描写があります。一つ一つの作品
が、とても味わい深いです。



友達も担任の先生も思わず足を止めて読んでいます。

明日は学校公開の最終日です。ご来校の際は、教室に行く前、お帰りになる前にちょっと南校舎1階の校長室～職員室前にお立ち寄りください。廊下に展示されている作をご覧になってください。